

エクストリームシリーズ 2024 那珂川大会

■優勝チーム コメント

『ちょもらんま』

安田 光輝さん

「エクストリームシリーズ 那珂川大会」にご一、まさえ、キラリンの 3 名では初めて出場してきました。

エクストリームシリーズ恒例！スタート直後のチームチャレンジは、大木須のおじさまたちと「じじぬき」。

おじさま+5 チームの各代表者で 1 グループをつくり、じじぬきをして先におじさまに勝ち抜きされると+10 分待機のペナルティがつく過酷なチャレンジ！

期待通りうちのチームはおじさまに勝ち抜かれてその場で 10 分待機……。周りを観ると多くの常連・強豪チームがおじさまに負けて待機！みんな主催者の思惑に見事ハマってました。

待機後は遅れを取り戻すべくガシガシバイクを漕いでチェックポイントを周り、カヤックセクションに着く頃には 2~3 番手まで浮上。

カヤックセクションは奥多摩大会のような静水でのカヤックかと思いきや、ゆるい流れのある川の上でのカヤックリレー。流れに逆らって上流方向へ漕いでいく区間が思っていた以上に長く、中々刺激的な設定でしたが、なんとか 1 番で抜け出して次のチェックポイントへ。

次は城跡を使った CP 探し！手渡された城跡のパンフレットと指示書を基に隠された CP を探す宝探的なチャレンジでした。城跡の周りには「山賊」がいて、山賊に見つかりゼッケンを写真に撮られてしまうと+15 分のペナルティタイムがつくというココもハードな設定。山賊にバレないように警戒しながら CP を探し出すのは、TV の「逃走中」に参加したようなハラハラドキドキ感があり楽しませてもらいました！

無事に城跡の CP チャレンジをおえたらバイクで峠を越えて最後のオリエンテーリングセクションへ！途中の峠越えの時には、これまでプッシュしてきた疲労でへろへろになりながら漕いでました。

おかげで暗くなる前にオリエンテーリングセクションに突入。大木須の山は細かい尾根・谷と小ピークが続く、ナビゲーションの難しい山域で、明るい状態でも惑わされて間違った尾根に乗ってしまう場面もありました。

加えてしっかりと藪を漕ぐ場所も多くこれまで出場したエクストリームシリーズの中では 1 番アドベンチャー感を味わえた場面でした。

そんなアドベンチャーなコース設定でしたが、なんとか日が沈む前にゴール！
ゴールゲートを潜った時の満足感は格別でした。

おかげで夏の Niseko Expedition に向けて、良いチームワーク練習ができました！

夜は大会会場となった大木須集落の地元の人たちのおもてなしをうけて宴会！選手と地元の方々と大いに盛り上がりました。

大会を開催・運営してくれたエクストレモスタッフの皆さま、たくさんのおもてなしを用意してくださった大木須集落の皆さま、楽しい時間をありがとうございました！